

東京大学の軍事 研究禁止 の原則を 再確認し よう！

学術における軍事研究の禁止は、政府見解にも示されているような第2次世界大戦の惨禍への反省を踏まえて、東京大学の評議会での総長発言を通じて引き継がれてきた、東京大学の教育研究のもっとも重要な基本原則のひとつである。

(2015年1月16日濱田純一総長の声明、東大ホームページより)

2015. 5. 20(水)★12:30

昼休み集会★安田講堂前

本学の軍事研究禁止の原則は、70年前の敗戦・戦禍という現実を踏まえた「平和への誓い」です。しかし、記憶の風化・歴史の忘却は、このリアルな「平和への誓い」に揺さぶりをかけています。「東大、軍事研究解禁」という本年1月16日の一部マスコミの誤報は、断じて許せません。4月に五神新総長を迎え、ここに改めて禁止の原則を再確認する必要があります。そのために私たちは行動します。